

JICの経営理念・投資戦略

JIC Venture Growth Investments設立決定について

2020.7.8

1. JICの経営理念（P.4－P.7）

- 当社は、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資を促進するとともに、投資人材の育成等を行い、我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環を創出します。

2. JICの投資戦略（P.8－P.10）

- JICが主体的に設立するファンドと民間ファンドへの投資を実施していきます。
- JIC VGIは、JICが主体的に設立するファンドの1つという位置づけです。

3. JIC Venture Growth Investmentsの設立（P.11－P.20）

- JIC Venture Growth Investments（JIC VGI）は、ベンチャー・グロース投資活動により我が国のイノベーションを促進し国際競争力の向上に寄与していきます。
- 我が国VC市場の成長に伴い、グロースステージを含めた一気通貫して対応可能なリスクマネーが必要となっていることを踏まえ、JIC VGIは、もう一段上の事業成長に繋げるためのリスクマネーを供給します。
- 産業ロードマップを俯瞰し、ベンチャー・グロース投資領域においてリスクマネーが不足している産業分野を特定し投資テーマとしていきます。

1. JICの経営理念

(1) JICの設立背景

世界的なDXの潮流*

国内外の社会課題の解決

日本経済の持続的な発展に向けて 日本の産業競争力を強化

産業・経済の新陳代謝が必要
新たな成長企業の創出や大胆な事業再編

国内の課題

我が国のリスクマネー供給は他国と比較して圧倒的に不足

JICの役割

リスクマネーの好循環を生み出す資金と人材を確保

* DX : Digital Transformation 企業が外部エコシステム（顧客、市場）の破壊的な変化に対応しつつ、内部エコシステム（組織、文化、従業員）の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ／アナリティクス、ソーシャル技術）を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して、ネットとリアルの両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること

（出典：経済産業省デジタルトランスフォーメーションに向けた研究会、DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～、2018年9月7日 / Japan IT Market 2018 Top 10 Predictions: デジタルネイティブ企業への変革 - DX エコノミーにおいてイノベーションを飛躍的に拡大せよ、IDC Japan プレスリリース、2017年12月14日）

(2) JICの経営理念 (Mission)

**当社は、オープンイノベーションによる企業の成長と
競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資を促進するとともに、
投資人材の育成等を行い、
我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環を創出します。**

(3) JICの目指す姿

(1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネーの供給



(2) 我が国のリスクマネーの好循環創出に向けた基盤づくり



(4) JICの行動規範

- JICおよび認可ファンドの役職員は、高度な倫理観を持って以下の行動規範を遵守し、高いパフォーマンスを発揮することに努めます。
- JICは、共同でゼネラルパートナーを務める投資家に対しても、以下の行動規範を最大限尊重し、行動することを求めます。

誠実さと規律ある行動

Integrity & Discipline

卓越した専門家としての矜持

Excellence & Professionalism

責務の遂行と結果に対する説明責任

Accountability & Responsibility

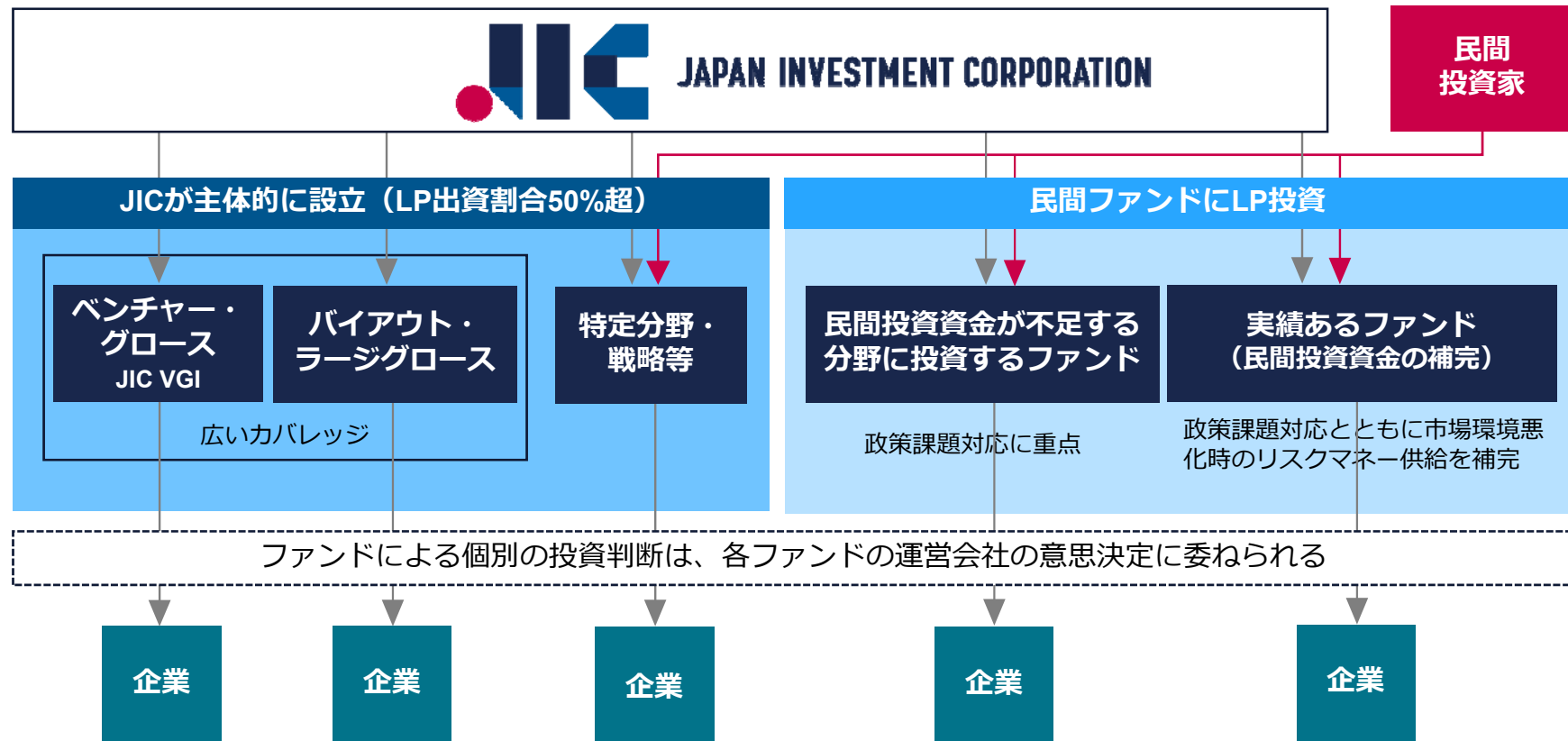
相互の信頼とチームワークに基づく
成果の最大化

Respect & Teamwork

2. 投資戦略

(1) JICのファンド投資戦略

- JICのファンド投資戦略としては、JICが主体的に設立するファンドと民間ファンドへの投資を実施していく。
- 今回設立するJIC VGIは、JICが主体的に設立するファンドの1つという位置づけ。
- 今後も、各ファンドの戦略、民業補完の考え方等に基づき、投資検討を進めていく。



(2) JICの投資タイプ



株式会社産業革新投資機構

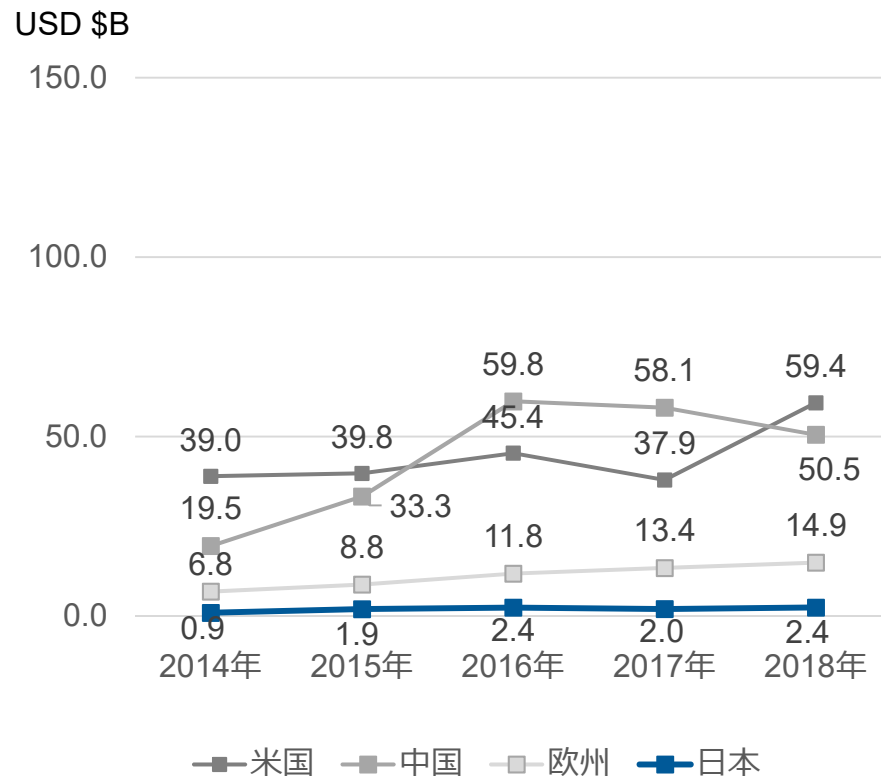
運用主体	戦略タイプ	投資先 ファンド	JIC LP出資割合	1ファンド への投資額 (億円)	民業補完の 考え方
JICが主体的 に設立する 運用会社	広いカバレッジ	VC、PEで1 ファンドずつ	1号100% 2号以降は 外部資金受託	VC 1,200	政策課題をフォローしつつ、民間投資資金が不足しているセクター、ステージ、戦略を投資対象とする
	特定分野・戦略	複数分野を 検討	100%未満	数百	
民間運用会社	民間投資資金が 不足している セクター、戦略 例：ライフサイエンス、 素材、モノづくり、 地方等	現在及び将来 の機関投資家 資金の受託を 期待できる ファンド	個別に検討	数十～数百	- 民間投資資金が不足している分野 - LP資金の縮小等に対応し、実績あるファンドへのリスクマネーを供給 - 民間資金の呼び水・補完的機能を果たす
	JICが投資対象 とする分野全般	実績ある ファンド (LPによる新規 コミット縮小等 に対応)			

3. JIC Venture Growth Investmentsの設立

- 国際的に米国ベンチャーにリスクマネーが集中。一方、日本はファンド組成状況は低調気味。国内でユニコーンを輩出していくには、国際水準のリスクマネー供給が必要。

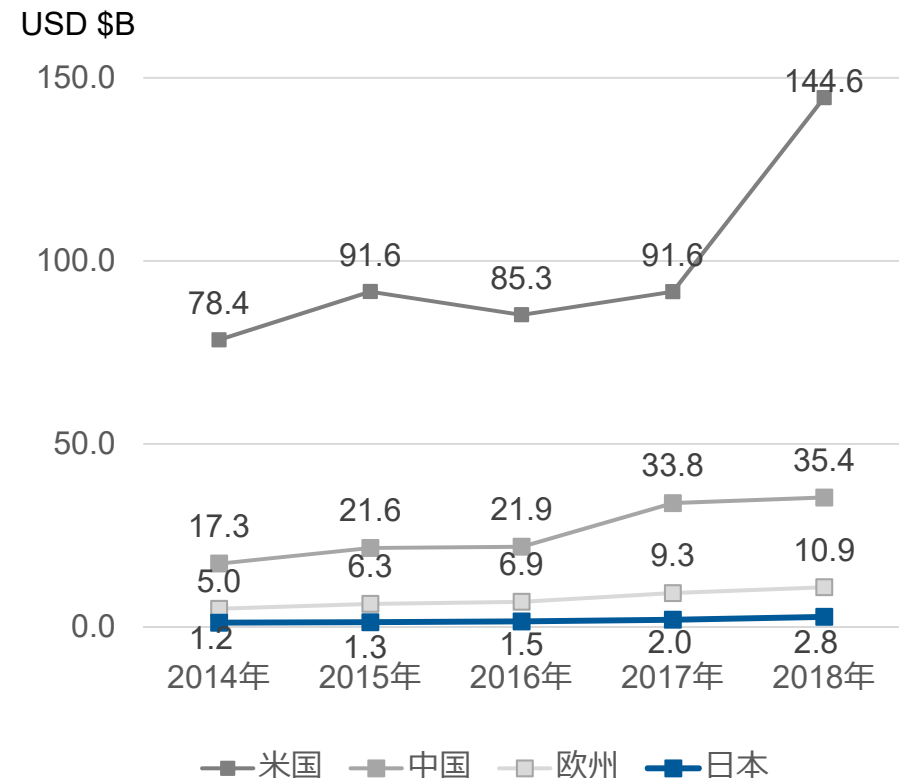
各国・地域におけるVCファンドの組成額推移

米・中は500億ドル規模で組成。欧州もリニアに成長。
一方、日本は20億ドル規模を前後する程度



各国・地域におけるベンチャー投資額推移

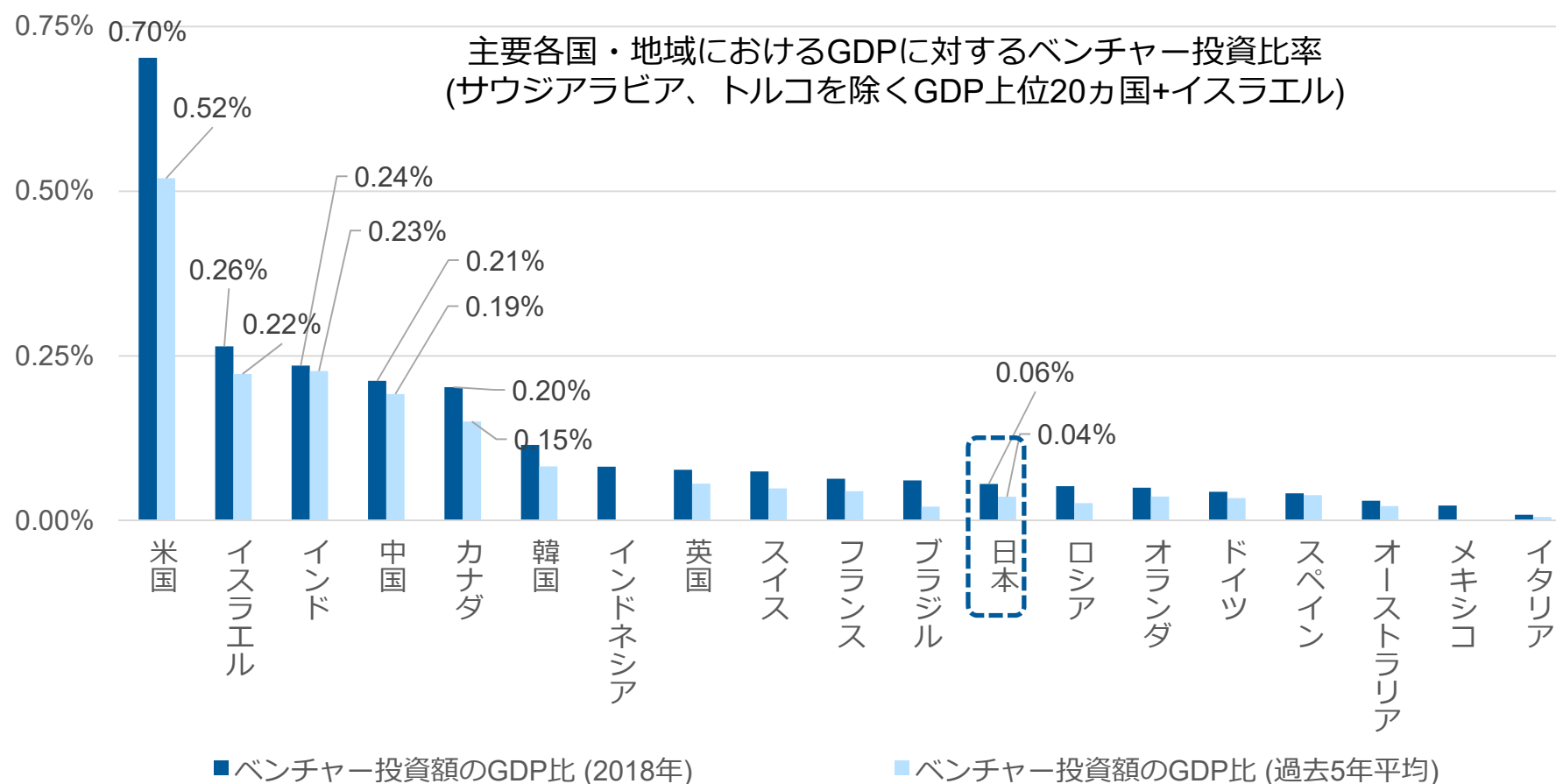
米国は組成額に比して2倍程度の水準で投資額が推移。
(各国に投資候補が少なく、米国に資金が流入と想定)



出典：ベンチャー白書2018/2019(一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター)よりJIC作成

- 主要各国のベンチャー投資の水準と比べて日本は中の下程度。日本が国際的な高水準に達するには1兆円程度(国内VC投資額2,000億円の5倍程度)の投資が必要。

主要各国・地域における日本VC出資額の水準



出典：ベンチャー白書2018/2019(一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター)およびVenture capital investments(OECD)よりJIC作成

ベンチャー・グロース投資活動により
我が国のイノベーションを促進し国際競争力の向上に寄与。
産業及び社会課題の解決を目指す。

ミッション

- ① 産業政策に基づくベンチャー・グロース領域への十分なリスクマネー供給と民間事業者との協働を通じて産業競争力の強化に貢献
- ② 産業変革を促す新技術や新規事業等の発掘及び支援を通じて、イノベーションを加速し社会及び産業課題の解決を促進
- ③ 既存産業の枠組みを超えたオープンイノベーションを促進することで、イノベーションの社会実装の完遂を目指し、我が国のイノベーションエコシステムの発展に寄与
- ④ 官民ファンドのネットワーク及び触媒機能を活かした案件創出、ハンズオン、業界連携等のバリューアップ活動により投資収益を最大化
- ⑤ 上記の活動を通じて、多様な投資人材を発掘・育成し、厚みと多様性ある我が国のリスクマネー供給の基盤構築に寄与

ミッションを支えるファンドの基本方針

- 1 既存の発想に捕らわれない、多様性を持った人材による運営
- 2 社会構造の変遷や将来の産業を俯瞰した投資活動
- 3 ベンチャー企業のリソースを補完するための積極的な大企業との連携
- 4 既存のバリューチェーンに捕らわれない、業界の壁を越えた幅広い連携
- 5 産業・ベンチャー業界・投資先とのイコールパートナーの思想

ストラクチャー

- ・ 投資事業有限責任組合(LPS)： VGF1 (投資事業有限責任組合契約に関する法律に準拠)
- ・ 無限責任組合員(GP)：
 - JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 (略称：VGI)
- ・ 有限責任組合員(LP)：
 - 株式会社産業革新投資機構 (略称：JIC)
 - VGF1役職員投資事業有限責任組合 (VGF1役職員組合)

ファンド/投資 規模

- ・ ファンドサイズ： 約1,200億円
- ・ 1社あたりの投資規模： 約10億円～50億円

投資領域

- ・ 産業変革及び社会課題解決に寄与する領域
- ・ シリーズB～ミドル、グロース、レーターのステージを想定

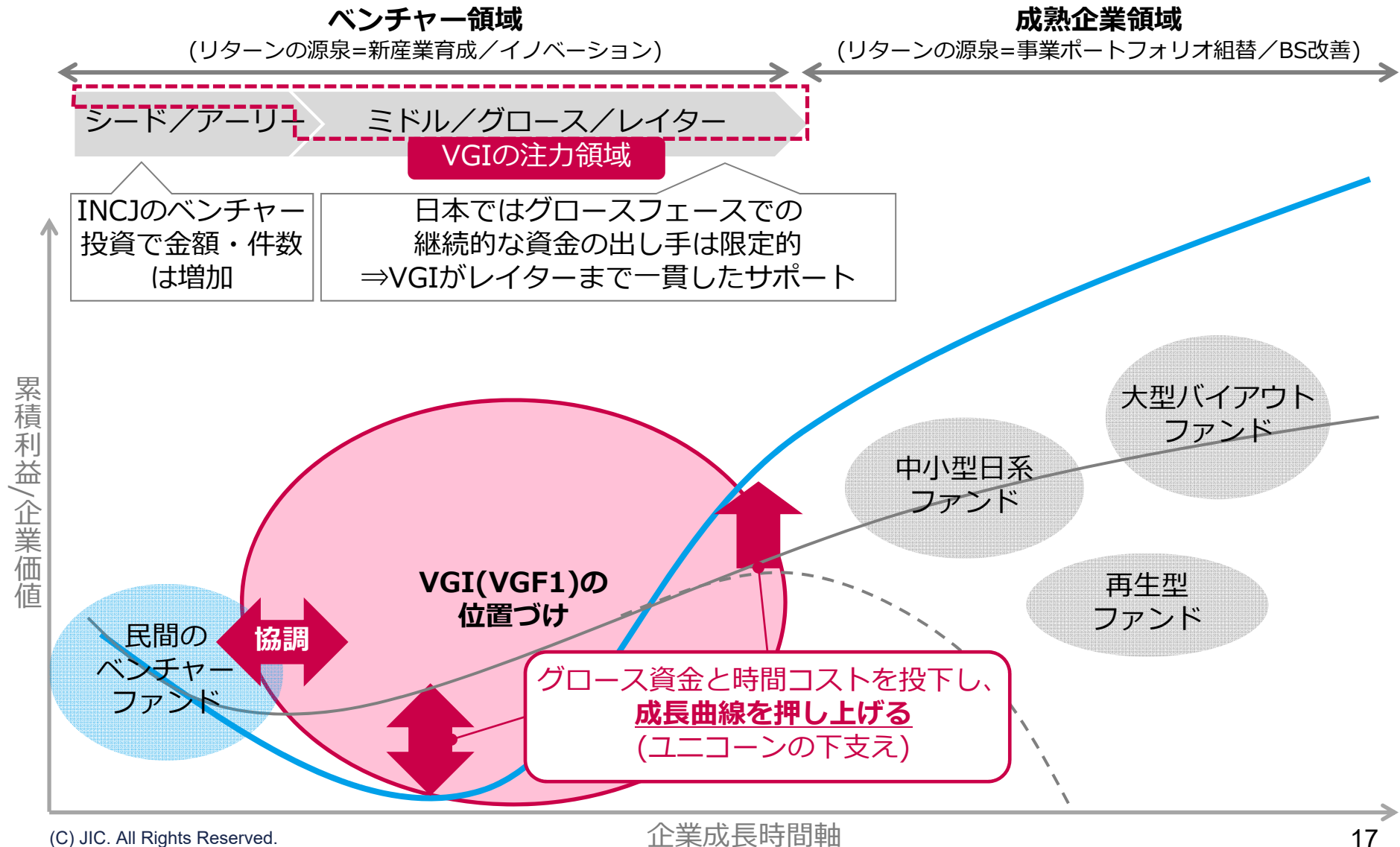
投資期間

- ・ 運営期間： 12年
- ・ 投資期間： 5年 + 延長2年(LP同意の場合)
- ・ 運営期間延長： 1年(LP同意の場合、設立後～最大2033年12月迄)
※JICの存続期間(2034年3月迄)を考慮

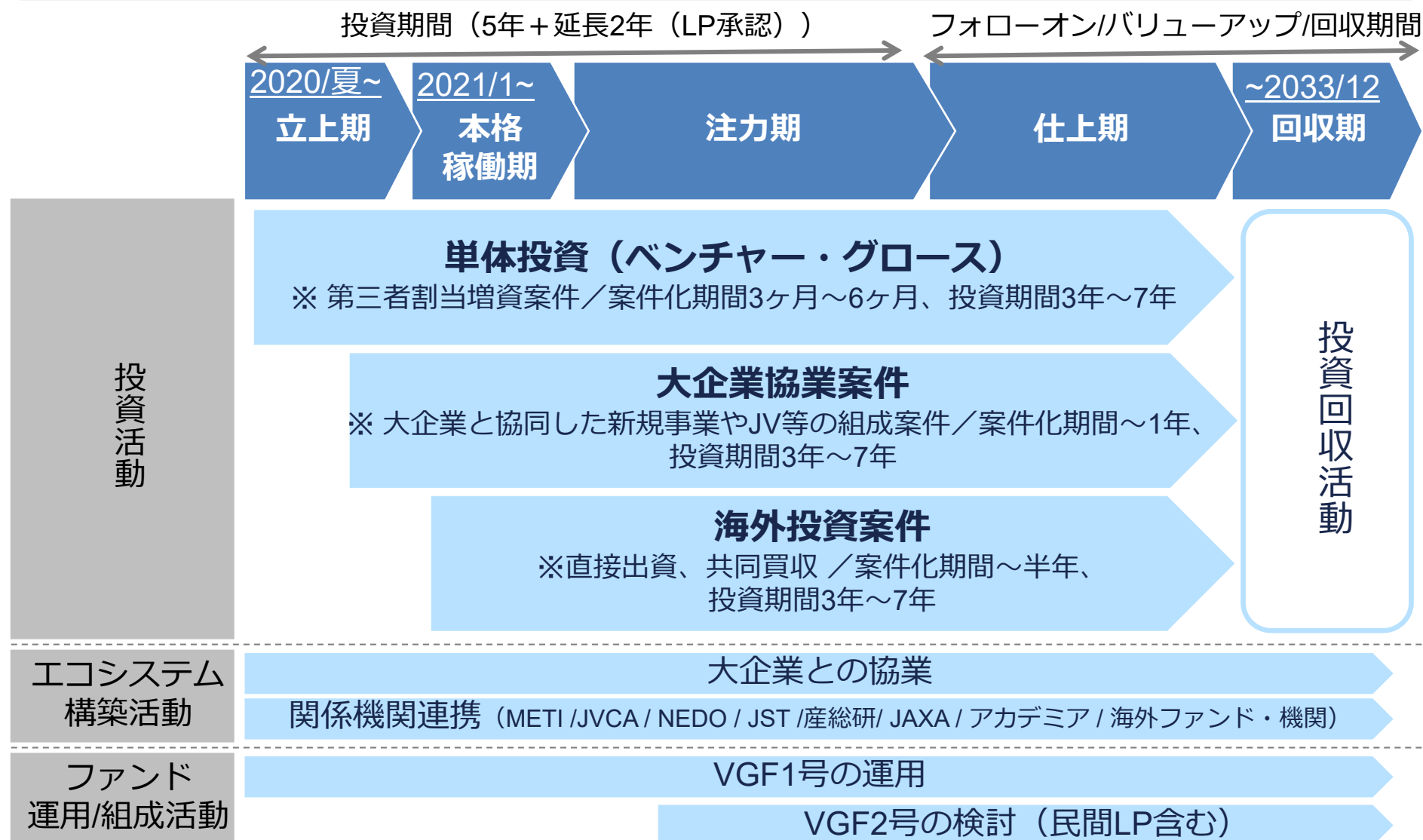
ガバナンス

- ・ 投資委員会： JICが毎回オブザーバー参加し、ファンドの投資基準との整合性を確認。
- ・ 投資ガイドライン： LPコミット総額の10%以上となる投資等は、LPの承認が必要。
- ・ レポーティング： 四半期毎に財務諸表、投資先企業概況等をJICに報告。

- VC市場の成長に伴い、グロースステージを含めた一気通貫して対応可能なリスクマネーが必要。
- VGF1は、もう一段上の事業成長に繋げるためのリスクマネー供給者となる。



- ファンド活動開始後、投資事業のみならず、ベンチャー・グロース領域のイノベーションエコシステム構築を目指し、投資リターンの最大化と共に、業界の底上げに寄与する。



投資テーマ（産業領域）

- VGF1は、産業ロードマップを俯瞰し、ベンチャー・グロース投資領域においてリスクマネーが不足している産業分野を特定し投資テーマとする。（従って産業領域の限定は無い）

※ 下記は産業領域区分の例示。**官民ファンドとして、リスクマネーが必要な領域に対応する。**

産業	投資領域	概要
情報通信	DX/SaaS等ERP	・ 既存産業のDXをもたらすSaaS/パッケージソフトウェア等
	AI/BigData/インフォマティクス	・ アルゴリズム開発、データ収集・統合・活用（Society 5.0）等
	インターネットサービス	・ コンシューマー向けICTサービス（効率化/生産性向上を含む）
金融 運輸・小売	FinTech	・ キャッシュレス、決済、セキュリティ技術 等
	運輸・輸送	・ スマートモビリティ（MaaS）/スマートロジスティクス
製造業	産業機械/デバイス	・ 産業機器・革新デバイス・ネットワーク化（工場内IoT化等のDXを含む）
	ロボティクス/ヒューマンオーガメンテーション	・ 五感機能の拡張・補完/次世代コンシューマー機器
サービス業	HRTech	・ 暗黙知、経験値のICT化、AI個別最適化/クラウドソーシング（技術含む）
	EdTech/保育	・ 教育・保育等の領域での先端技術活用（AI/IoT含む）
	介護	・ 介護等の領域での先端技術活用（AI/IoT含む）
健康医療	RegTech	・ 規制・法令等の領域での先端技術活用（AI/IoT含む）
	ヘルスケア	・ ICTヘルスケア、医療検査機器、プラットフォーム（ヘルスケアSmart city）他
	メディカル	・ 医療機器、創薬
建設・ ユーティリティ	環境エネルギー	・ 持続可能な社会に必要な技術（サステナブル技術・モデル等）
素材化学	素材化学	・ 新素材・材料等の開発
一次産業/食品	Agri&FoodTech	・ 一次産業のスマート化、新食品等
新産業	宇宙	・ 宇宙での新たなビジネス機会の創造
	量子	・ 量子コンピューター/量子効果の実装（情報、モノづくり、素材等）
	ディープテック	・ 革新的技術を用いた新たな付加価値サービス等

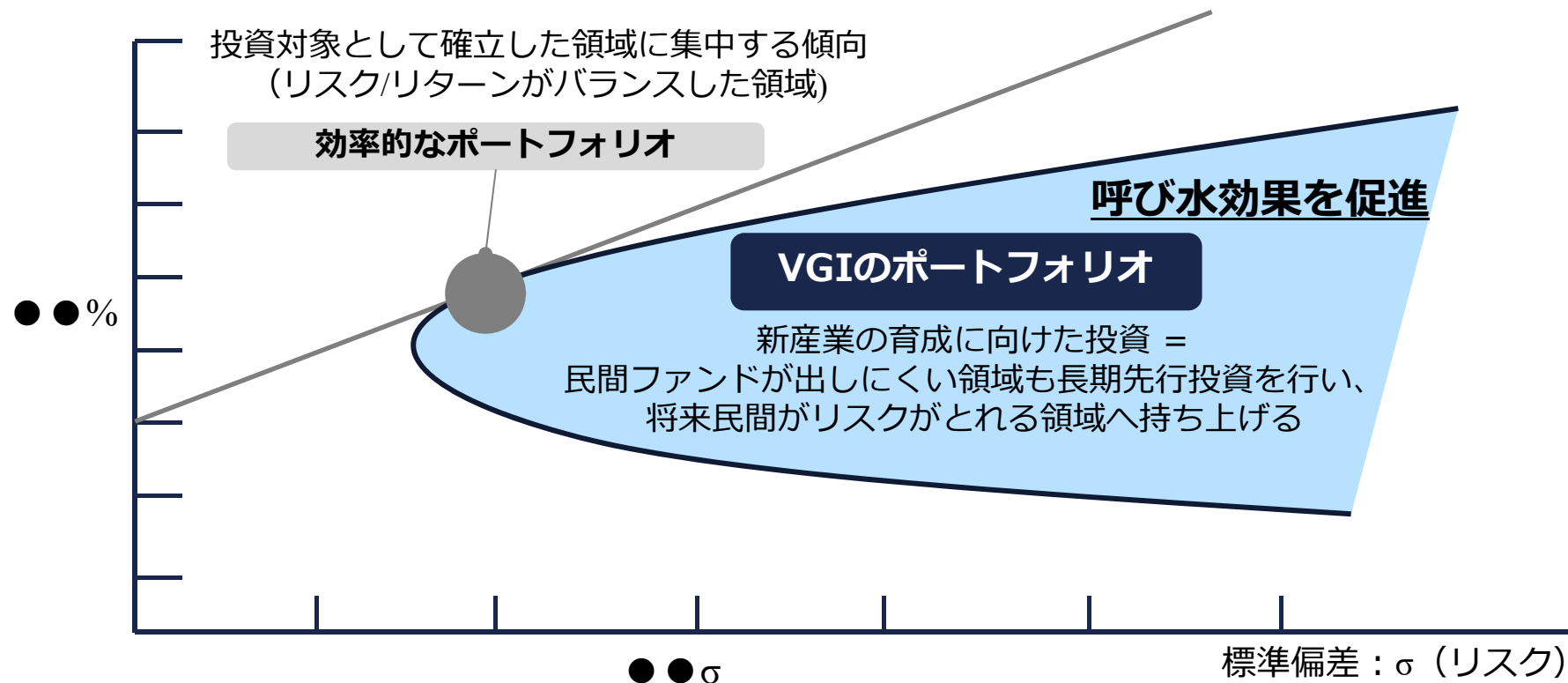
※投資に際しては、政策目的を踏まえたESG投資と持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みの推進にも留意する。

- 新産業育成/イノベーションを促進するため、民間ファンドが投資が困難な領域やステージでも、VGIはリスク/リターンを精査のうえ投資。その結果として民間資金の呼び水効果を創出。

効率的ポートフォリオ概念における本ファンドの政策戦略

期待収益率：

Expected return ($E(r)$)





JAPAN INVESTMENT CORPORATION